佐世保工業高等専門学校	開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	情報基礎論

科目基礎情報

科目番号	1120	科目区分	専門 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	複合工学専攻	対象学年	専1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	入門 情報処理ーデータサイエンス、AIを学ぶための基礎－（寺沢，福田　オーム社）		
担当教員	下尾 浩正		

到達目標

1．情報科学にまつわる基礎知識を説明できる．（A3）
2．情報技術にまつわる基礎知識を説明できる．（A3）
3．コンピュータによって情報処理・演算・通信がどのように行われるか説明できる．（A3）
4．ワードプロセッサ，表計算ソフトウェアを使って情報処理の基本的操作ができる．（A2）
5．プレゼンテーションソフトウェアを使って，説明ができる．（A2）

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1（到達目標1・2）	情報科学にまつわる基礎知識と情報技術にまつわる基礎知識を十分に説明できる.	情報科学にまつわる基礎知識と情報技術にまつわる基礎知識をある程度説明できる.	情報科学にまつわる基礎知識と情報技術にまつわる基礎知識を説明できない.
評価項目2（到達目標3）	コンピュータによって情報処理・演算・通信がどのように行われるかわかりやすく説明できる.	コンピュータによって情報処理・演算・通信がどのように行われるか説明できる.	コンピュータによって情報処理・演算・通信がどのように行われるか説明できない.
評価項目3（到達目標4・5）	ワードプロセッサ，表計算ソフトウェアを有効に使って情報処理の基本的操作ができる．プレゼンテーションソフトウェアを有効に使って，説明ができる.	ワードプロセッサ，表計算ソフトウェアを使って情報処理の基本的操作ができる．プレゼンテーションソフトウェアを使って，説明ができる.	ワードプロセッサ，表計算ソフトウェアを使って情報処理の基本的操作ができない．プレゼンテーションソフトウェアを使えない.

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 A-2 学習・教育到達度目標 A-3
JABEE b JABEE d JABEE e

教育方法等

概要	情報工学の観点から，情報を取り扱う上で必要な情報科学の基礎事項とコンピュータによって情報処理・演算・通信がどのように行われるかといった情報技術の基礎知識について学ぶ.
授業の進め方・方法	予備知識：特になし 講義室：専攻科講義室，ICTroom 授業形式：輪講，演習 学生が用意するもの：レポート用紙，（持っていれば）ノート型パソコン
注意点	評価方法：評価は、50%を試験および報告書（目標A3），残りの50%を発表（輪講）および演習（目標A2）による評価とし，それぞれ60点以上を合格とする. 自己学習の指針：情報技術について身の回りの物を用いて理解する．パソコンを使って，演習問題を自分で行う．講義内容から内容のまとめを自分で行う．これらの自己学習時間は，授業ごとに２時間以上を確保すること. オフィスアワー：月・木16:20～17:00 ※到達目標の（　）内の記号はJABEE学習・教育到達目標

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業概要説明，ビジネス文書の基礎，ビジネスプレゼンの基礎	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる ワードプロセッサを使って情報処理ができる
		2週	情報社会とビジネス１	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように情報処理できるか説明できる．情報社会で，注意すべき事が説明できる
		3週	情報社会とビジネス２	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように情報処理できるか説明できる．情報社会で，注意すべき事が説明できる
		4週	コンピュータネットワーク	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように通信が行われるか説明できる
		5週	コンピュータシステム（ハードウェア）	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように演算が行われるか説明できる
		6週	コンピュータの動作原理	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように演算が行われるか説明できる
		7週	演習：データ処理の実践１	表計算ソフトウェアを使って情報処理ができる
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	試験返却，演習：データ処理の実践２	表計算ソフトウェアを使って情報処理ができる

		10週	情報量	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように演算が行われるか説明できる
		11週	ソフトウェア	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように情報処理が行われるか説明できる
		12週	人工知能のアルゴリズム	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる コンピュータを使ってどのように情報処理が行われるか説明できる
		13週	メディアリテラシー 1	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる 情報社会で，注意すべき事が説明できる
		14週	メディアリテラシー 2	プレゼンテーションソフトウェアを使って説明ができる 情報社会で，注意すべき事が説明できる
		15週	演習：データ処理の実践 3	表計算ソフトウェアを使って情報処理ができる
		16週	定期試験	

評価割合

	試験と報告書	発表と演習	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	50	50	100
分野横断的能力	0	0	0